

言語・文学委員会文化の邂逅と言語分科会（第25期・第4回）
議事要旨

日時：2022年1月30日（日） 13：00－15：00

会場：Zoom 開催

議題：（1）前回議事要旨の確認

（2）今後の分科会スケジュール

（3）言語・外国語教育に関する討議

（4）人文学（特に文化・文学）研究に関する討議

（5）その他

出席委員：阿部公彦、伊藤たかね、今西典子、大津由紀雄、大宮勘一郎、梶茂樹、木津祐子、小泉政利、高橋宏幸、鳥飼久美子、林徹、原田範行、水野尚之

（1）前回議事要旨を確認した。

（2）今後の分科会スケジュール

2021年12月開催の第183回総会での報告や討議事項、及び第一部会での議事内容を確認し、本分科会の審議スケジュールと意思表示方法について意見交換を行った。

（3）言語・外国語教育に関する討議

（4）人文学（特に文化・文学）研究に関する討議

議題（3）及び（4）について横断的に討議を行った。主な論点は、次の1.～3.のとおり。

1. 大学入試のあり方に関する検討

学習指導要領の問題及び共通テストのあり方に関して、分科会として可能な提言は何か、社会的に共通の認識をどのように醸成するかについて意見交換を行った。

2. 教育におけるコンテンツの問題

教育におけるコンテンツを整備・拡充するための具体的な方途についての意見交換を行った。言語とコンテンツを結びつける力、文脈把握の力が教育の場で重要であることについての社会的認識の醸成が必要であるとの見解を共有した。

3. 提言のあり方と、他教科（他学科）との共通課題の見極め

現在の言語・文化教育の場が抱える問題点は、英語のみの問題にとどまらないこと、いかに他言語、他教科と問題意識を共有するかについて、意見交換を行った。

（5）その他

今回の分科会で確認された事項をもとに、次回以降2回にわたって、各委員からのブレインストーミングを行うこととした。一人10～15分程度で課題提起を行う。専門分野を踏まえ、2022年度の連休前後に一回目、夏休み前に二回目を実施し、夏休み明け以降には意思表示へ向けた作業に取り組むこととした。

第一回課題提起：鳥飼、大津、伊藤、林、今西、水野

第二回課題提起：小泉、大宮、高橋、梶、木津、今西